

# 平成30年度 環境医学研究所 第13回 若手研究発表会

日時：2019年1月25日(金) 17:00～20:00  
会場：順天堂大学医学部附属浦安病院 2号館8階  
環境医学研究所 カンファレンスルーム

挨拶：荒木 慶彦 (環境医学研究所 副所長)

座長：中山 仁志 (環境医学研究所 助教)

早川 国宏 (膠原病内科グループ・特任助教)

「TLR7アゴニストによるSLE症状の促進 -SLEの病態形成に及ぼす環境要因の影響-」

市原 理司 (医学部附属浦安病院 手外科センター・整形外科・助教)

「端側吻合法を用いたシュワン細胞供給型人工神経による末梢神経再生」

カタリナ サギタ モニアガ (高森グループ・JSPS外国人特別研究員)

“Role of hydrogen sulfide in the pathogenesis of human atopic dermatitis”

本田 耕太郎 (高森グループ・博士研究員)

「脊髄後角における痒覚神経伝達経路に対するκオピオイド作動薬の作用機序の解明」

外山 扇雅 (高森グループ・博士研究員)

「アトピー性皮膚炎における末梢神経線維と好酸球の相互作用を標的とした  
難治性痒みメカニズムの解明」

須山(古宮) 栄利子 (高森グループ・特任助教)

「機械的かゆみ調節機能におけるCD26分子の役割の解明」

座長：鎌田 弥生 (環境医学研究所 助教)

李 曉佳 (岩淵グループ・AMED-CREST特別研究員)

「ホスファチジルグルコシドおよびその関連分子の好中球クリアランスにおける役割の解明」

二宮 以信 (海老原グループ・眼科学 博士課程2年生)

「春季カタル巨大乳頭組織における異所性リンパ濾胞の存在・機能・形成過程に関する研究」

片岡 裕子 (膠原病内科グループ・RA・環境・性差医学 博士課程2年生)

「全身性強皮症モデルマウスにおける抗CTGF抗体の有効性の検討」

松岡 遊貴 (膠原病内科グループ・RA・環境・性差医学 博士課程3年生)

「関節リウマチ治療に対するメトホルミンのdrug repositioningの可能性の検討」

渡部 晃三 (膠原病内科グループ・RA・環境・性差医学 博士課程4年生)

「関節リウマチにおける合成抗リウマチ薬を用いた新規治療法の確立～イグラチモドを中心に～」

桜井 理沙子 (荒木グループ・RA・産婦人科学 博士課程4年生)

“CD73: A candidate glycoprotein for the target of an anti-sperm auto-monoclonal antibody (Ts4) which recognizes a bisecting N-acetylglucosamine structure in testicular germ cells”

講評：高森 建二 (環境医学研究所 所長)



環境医学研究所HPに簡単アクセス!!

連絡先：環境医学研究所 TEL:047-353-3171

共催：順天堂大学大学院 医学研究科